

議案等の件名・主要内容 及び 質疑・賛成、反対意見や 各議員の態度				会派名	市政クラブ	公明党	共産党	青政会	高志クラブ	新政会	高浜市民の会	清風会									
種類番号	件名	議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 <small>議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で討論意見がないものは 本会議の賛成・反対討論。</small>	議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	杉浦 浩一	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	黒川 美克	倉田 利奈	長谷川 広昌	
12月定例会（会期：11月30日～12月20日・21日間） 議案等				結果	○＝賛成、採択 ●＝反対、不採択																
議案第62号	令和3年度高浜市一般会計補正予算（第8回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億7,261万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ170億938万7,000円とする。 【主要新規事業】生活困窮者自立支援事業、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業	問 生活困窮者自立支援事業内容は。 答 新型コロナの影響で収入が減少、又は離職した方で、生活保護に至る前段階世帯への生活再建のための支援である。社会福祉協議会が、昨年3月から行っている特例貸付制度を利用されている120世帯の中で、この自立支援金要件収入及び資産要件等を満たす2割程度、24世帯を見込んでいる。 問 子育て世帯への臨時特別給付金支援事業の高校生への支給は。 答 児童手当の対象となる家庭の高校生については、児童手当の仕組みを使って年度内支給を、高校生のみ世帯については、個別制度通知等を行い、申請をして頂き、申請に基づき所得等の判定を含め支給予定。	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和3年度高浜市一般会計補正予算（第9回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億6,162万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ174億7,101万2,000円とする。 ○子育て世帯への臨時特別給付金支給事業追加分	問 どのような家庭が給付金の対象となるのか。 答 保護者の生計に入り、生活している子どもがいる家庭が対象。 問 高校生がいる世帯への周知方法は。 答 現時点では個別通知、ホームページ、広報にて周知を図る予定。	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第14号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	市の福祉施策の充実を求める。国に患者窓口負担増の中止、国保の国庫負担引き上げ、出産手当・傷病手当の予算措置、年金引き下げ中止、安心できる年金制度、18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める意見書の提出を求める。県に福祉医療制度を守り、拡充し、県独自の国保への支援を求める意見書の提出を求める。	反対 国民健康保険税は、国保制度を運営する必要な金額を負担いただくため、財政運営が安定かつ円滑に維持できる適正な税率を算定している。減免制度については、国・県の動向及び国保財政の実態を踏まえて、適切に対応していく必要がある。一般会計からの繰入れは、法令等の規定に基づく、繰入れを行うことが原則と考えている。陳情事項の内容について、法で定める財産処分の全面禁止とも捉えることのできる内容が一部含まれている。 賛成 パンデミックは自己責任を追求する新自由主義の下で格差と貧困の拡大、医療や社会保障制度の弱体化、脆弱化の実態を明らかにした。世界的に社会の在り方が問い直され、日本でもコロナ後の社会について自己責任を押しつける社会ではなく、地域でつながって住み続けられる社会づくりを進められているが、政府は、消費税を財源にする病床削減推進法、高齢者の医療費窓口負担2倍化法の強行成立など財界、大企業の要求そのままの暴走政治を進めている。国民の命と暮らし最優先へ政治の転換が求められている。	不採択	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	
陳情第15号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	市の福祉施策の充実を求める。国に介護保険制度の改善や障害者の地域生活支援拠点の整備等を求め、国及び県に新型コロナウイルス感染症にかかわる医療・介護・福祉・保育事業所等への支援強化を求める意見書の提出を求める。	反対 安心できる介護保障について、介護保険料、利用料など、第8期の介護保険料は、基金の取崩しを見込んで算定されているが、第9期介護保険事業計画を待たずに引下げを行うことは、将来を見据えていない。所得段階は県内トップの17段階、低所得段階の倍率も国の基準以下に設定されているので、低所得者への対応はなされている。 賛成 国民のいのちと暮らしを最優先の政治の転換が求められているとき、どの要請も当然。介護保険では、高浜市は多段階の17段階を採用しているが、保険料は最高で2.2倍、他市では9段階でも2.5倍のところもある。所得の多い部分で調整すれば、低いほうをもっと低くできる。	不採択	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	

※柳沢英希議員は、議長職のため表決権はありません。
※11月1日付にて、長谷川広昌議員が、新たに「清風会」を結成しました。